

下水道で守る地球環境

大洗町立第一中学校

一年

田山

彩音

ゴールデンウィーク明けのある日、私が登

校準備をしていると、母から

「今日は、学校から帰ってきて、水が使え

ないかもしれないから気をつけてね。」

と声をかけられました。水が使えない理由を

聞いたところ、家にある浄化槽から町の下水

道へ切り替えるため、下水道接続工事をする

とのことでした。あまり深く考えずに登校し

、夕方帰宅したときには工事も終わっていた

ため、何事もなく水が使えました。何が下

水道接続工事をする必要があったのだろうか

疑問に思いました。そもそも下水道について

よく分からなかった。とても興味がわき

、調べてみることにしました。

まず、合併浄化槽と下水道は、どのような

役割があるのでしょうか。インターネット等

で調べてみると、いろいろなことが分かりまし

た。

合併浄化槽とは、食器を洗った後の水、トイレの水、洗濯の水、お風呂の水などの生活系汚水を各戸に設置した設備で、すべての水をきれいにして道路脇の側溝に流しています。そして下水道処理とは、各家庭から出た生活系の汚水が道路下に埋設された下水道管にそのまま入り下水道処理施設へ集められ、浄化などの水処理を行います。

なぜ我が家では、浄化槽処理をやめて下水道接続工事をしたのが疑問に思ったので父に聞いてみることにしました。その理由は二つありました。一つ目は、町で下水道工事が行われ、下水道が供用開始され、接続すること
が義務付けられているからだそうです。二つ目は、下水道に接続したほうが、地球環境に良いと思ったからだそうです。

では、我が家から出た排水はどこにたどり着くのかも気になり調べてみました。各家庭から町内の道路に埋設された下水道管を通り、国道二四五号線の下を通って最終的にはひ

たちなか市にある「那珂久慈浄化センター」
にたどり着きます。その大型の施設で汚水を
きれいにして海に放流されていきました。私は
普段使っている道路の下に下水道管が埋設
されていることや、隣町で排水を処理してい
ること、処理するまでに何十キロもの道のり
を経てたどり着くことに大変驚きました。

最近、ニュースや新聞などでも海洋プラス
チックの問題や地球環境を良くしようという
動きが強まっています。みなさんもSDGs

という言葉彙をよく聞くと思います。SDGs
の目標14に、海の豊かさを守ろうとあります。
す。合併浄化槽の時は、きれいになった水を
側溝に流していましたが、側溝の中にゴミや
土があるとそれが一緒に流れてしまう可能性
がありました。その影響で、海が汚れてしま
います。しかし、下水道に接続すれば、浄化
センターできれいにした水をそのまま海に流
すことができそうです。

私の住んでいる大先は漁業や海水浴場が有

名で、「海」が大きな自慢です。特に魚がた
くさん取れるのでよく食卓に魚料理が並びま
す。そんな大好きな魚が測溝のごみなどのせ
いで死んでしまったら大変です。魚の胃の中
を開けてみたらプラスチックゴミがいっぱい
だったという話も聞いたことがあります。こ
れからも海を守るために私たちにできること
はないか考えました。たとえば、下水道を使
うにあたっての注意点である、食器を洗うと
きの洗剤を多く使わない、水に溶けないティ
ッシュペーパーや油を流さない、食器のよご
れはキッチンペーパーで軽くふき取るなど、
日常生活でちょっと気にかけることで海を守
ることにつながると思います。身近なところ
に、私にもできるSDGsにつながる取り組
みがあることを知りました。

我が家の下水道接続工事をきっかけによ
く分からなかった浄化槽や下水道についでた
くさん知ることができました。そして、私た
ちのせいで海を汚してしまっている可能性が

あることも知りました。私のように浄化槽や
下水道について知らない人がたくさんいると
思います。皆さんにもっと知ってもらい、下
水道を使う家が増え、地球環境が悪化しない
社会ができればいいなと思いました。これか
ら大好きな海を汚さないためにも、地球環
境のためにも、個人でできるSDGsに取り
組んでいきたいと思えます。